

令和7年度当初予算 総額 1059.8 億円

当面の課題への対応

プレミアム付スマイル商品券の発行／住宅リフォームへの支援／指定ごみ袋販売価格の据え置き(実質値下げ) 学校給食費の据え置き(実質値下げ)／商工業者等の省エネルギー設備導入への支援

新たなステージ創造に向けた未来への投資 ①

人口戦略

究極のインフラ整備

子育て世代・若者支援

- 1 3つの完全無料化
- 2 こどものあそびば整備
屋内型のあそびば整備に着手
- 3 不妊治療等の助成
一般不妊治療・生殖補助医療・不育症治療等の自己負担ゼロへ

市民の健康増進

- 1 心臓・脳血管・透析センター整備支援
- 2 こけないからだづくり講座
- 3 子宮頸がんワクチンの接種推進
キャッチアップ接種を延長

自然増の促進

社会増の促進

自然減の抑制

社会減の抑制

移住支援と受け皿整備

- 1 移住応援給付金
- 2 保育人材の確保
継続支援金を拡充
- 3 奨学金返還支援
市内大学等卒業の市外出身者も支援対象に追加

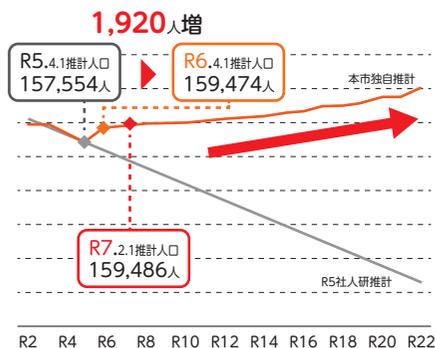
定住の促進

- 1 まちなか居住の推進
支援措置を強化
- 2 選ばれる企業づくり支援
若者が働きたい企業づくり支援
- 3 地元就職促進
- 4 小・中学生のキャリア教育

人口維持もしくは安定的な増加へ！

13年ぶりに人口増加達成！

【人口戦略による推計人口グラフ】



若者・子育て世代に選ばれています！

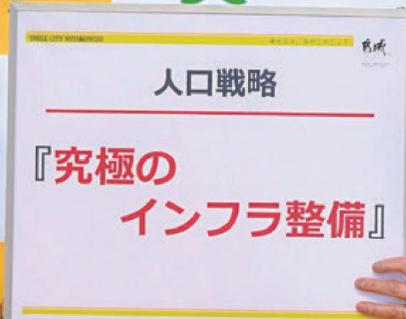
住みたい田舎ベストランキング*



※宝島社発表、2025年版／人口10万人以上20万人未満のまち部門

記者会見で説明を行う池田市長

宮崎県
都城市



新たなステージ創造予算

スマイルシティ都城

令和7年度当初予算が成立しました。今回は、予算の概要と主な取り組みなどを紹介します。
 ◎問い合わせ 財政課 ☎2312113

令和7年度一般会計当初予算の考え方について、市長メッセージをお届けします。

本市の令和7年度の一般会計当初予算は、総額1059億8千万円（前年度比8・6%増）となり、過去最大規模となっております。主な内容としては、「当面の課題への対応」として、市民生活および地域経済を支える取り組みを進めた上で、「新たなステージ創造に向けた未来への投資」として、①人口戦略「究極のインフラ整備」、②デジタル・スポーツ・対外的PRのさらなる推進、③3つの宝をより一層輝かす、などの各施策に積極的に投資してまいります。



特に、人口減少対策では、3つの完全無料化や移住支援策などの取り組みが実を結び、13年ぶりの人口増加を達成し、本市は人口減少から人口増加のステージへと転じました。

10年後・20年後の本市のさらなる発展の大きな力となる「人口戦略」を「究極のインフラ整備」と位置づけ、人口の維持もしくは安定的な増加を目指し、「市民の皆様の幸福と本市のさらなる発展」のために全身全霊で取り組んでまいります。

市民の皆様には、引き続きのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年4月
池田市長



新たなステージで活躍する 子どもたちへの投資

県内初！ こどものあそびば整備

新規 **2,922**万円

大型の公設屋内型遊戯施設を整備するのは
県内初！



- ◆熱中症の危険性がある真夏や雨天時でも、子どもたちが伸び伸びと遊び、保護者が安心して見守ることのできる**屋内型遊戯施設の整備**に着手
- ◆令和7年度は施設の内容や整備場所を検討

県内九市初！ 全小・中学校体育館の空調整備

新規 **1,391**万円

全小・中学校体育館への空調整備は
県内九市初！



- ◆子どもたちの学習・生活の場である全小・中学校体育館の空調整備に着手
- ◆安心して学習・運動できる環境の向上
- ◆多くの体育館は避難所としても使用するため、避難所環境の向上にも大きく寄与

新たなステージ創造に向けた未来への投資 ② D・S・PR のさらなる推進

D デジタル化の推進

- キャッシュレス決済の強化
- 基幹業務システムの標準化対応
- 介護認定審査会のデジタル化 など

- ▶マイナンバーカード保有枚数率**全国1位** (人口10万人以上市区)
- ▶原則、全ての**行政手続のオンライン化完了！**
- ▶**日本DX大賞2年連続受賞！** (行政機関・公的機関部門)

S スポーツによる地域活性化

- プロチームキャンプに向けた施設整備
- 日本のひなた宮崎国スポ・障スポに向けた施設整備
- 山田運動公園野球場の改修 など

- ▶プロ野球、プロサッカーチームなどの**キャンプ開催！**
- ▶R9年**日本のひなた宮崎国スポ・障スポ**へ向け、整備推進中！
- ▶市民利用の多い山田運動公園野球場も改修

PR 対外的PRの推進

- ふるさと納税の推進
- スノーピークと連携「関之尾公園」
- 肉と焼酎のふるさと発信「NiQLL」 など

- ▶ふるさと納税受入額 **5度の日本一！** (H27・H28・R2・R4・R5)
- ▶スノーピーク都城キャンプフィールドでにぎわう関之尾公園
- ▶「道の駅」都城NiQLLオープンから1年5カ月で**200万人達成！**

新たなステージ創造に向けた未来への投資 ③ 3つの宝 をより一層輝かす

1 農林畜産業の振興

- 本市の基幹産業のさらなる振興
- 6次産業化の推進
- 森林整備の促進 など

- ▶農業産出額 **4年連続日本一！** (R元～R4)
- ▶6次産業化の地域ブランド“**都城メンチ**”をさらにPR
- ▶林業の振興と再造林の推進

2 地の利の拡大

- 九州圏域を結ぶ3ルートの早期事業化
- 基幹道路の整備
- 工業団地の整備 など

- ▶都城志布志道路 **令和7年3月23日に全線開通！**
- ▶基幹道路等の整備により、地域の可能性は無量大！
- ▶企業立地件数 **5倍超のスピード！**

3 人間力あふれる子どもたちの育成

- 小・中学校体育館の空調整備
- デジタル技術等の活用による学力向上
- ALT・図書館サポーターの配置 など

- ▶全ての小・中学校体育館へ**空調を整備！**
- ▶1人1台端末、AIドリルなどによる**個別最適な学びの実現**
- ▶**ALT・図書館サポーター**の活用

収入を増やし、借金を減らしつつ、しかるべき分野に投資する！

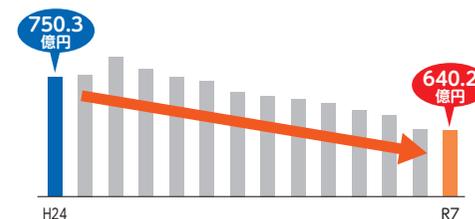
1 収入を増やす！

市税の増			堅調なふるさと納税		
R5	R6	R7	R3	R4	R5
199.3億円	197.4億円	209.1億円	146.0億円	195.9億円	193.8億円

自主財源比率 **49.5%**
宮崎県・県内9市
トップ

2 借金を減らす！

市債残高、**110億円以上の減！**(対H24)



3 しかるべき分野に投資する！

都城市を**新たなステージ**へ！

- 1 人口戦略「究極のインフラ整備」
- 2 D・S・PRのさらなる推進
- 3 3つの宝をより一層輝かす



人口戦略「究極のインフラ整備」

自然増の促進 子育て世代・若者への支援

3つの完全無料化
 ① 予算額 15億3037万円
 ② 予算額 2215万円
 ③ 予算額 2215万円

第一子からの保育料、中学生までの医療費、妊産婦の健康診査費用の3つの完全無料化を引き続き実施し、子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進します。

不妊治療費等の助成 **県内トップ**

① 予算額 2215万円
 ② 予算額 2215万円

一般不妊治療・生殖補助医療・不育症治療の医療費や不妊検査費用の自己負担額を全額助成することで、不妊治療などの経済的負担の軽減を図ります。



D・S・PRのさらなる推進！

デジタル化の推進

キャッシュレス決済の強化

① 予算額 2133万円
 ② 予算額 2億5296万円

市役所窓口での証明書手数料や公立保育所の一時預かり料などを、クレジットカードや電子マネー、二次元コード決済で支払い可能にすることで、キャッシュレス決済の強化を図ります。



基幹業務システムの標準化対応

① 予算額 2億5296万円

農業経営者コミュニケーションによる就業支援

① 予算額 2977万円

自然増の抑制 市民の健康増進

① 予算額 8億9587万円
 ② 予算額 2520万円

都城市部医師会病院心臓・脳血管・透視センター整備への支援
 ③ 予算額 4億592万円

高度急性期期の病床を増加し地域完結型の医療体制の構築を実現することで、市民の安全・安心を確保します。

こけなからだづけり講座

① 予算額 1億7637万円

子宮頸がんワクチンの接種推進

① 予算額 14億5940万円
 ② 予算額 15万円

国がキャッシュアップ接種の延長措置によりワクチンの接種機会を確保するとともに、集団接種の実施によるワクチン接種の利便性向上や啓発活動の強化により接種率向上を図ります。

社会増の促進 移住支援・受け皿整備

① 予算額 14億5940万円
 ② 予算額 15万円

移住応援給付金の支給を継続して実施。移住後相談受付や雇用・就労支援を行い、定住化を推進します。

保育人材の確保

① 予算額 8200万円
 ② 予算額 6360万円

安心して子育てできる環境を維持しつつさらなる需要に対応するため、就職支援金・継続支援金を支給します。就職後の定着を図るため、新たに就労1年経過後にも10万円を支給します。

奨学金返還支援

① 予算額 815万円

奨学金返還額の一部を支援。新たに市内大学等を卒業した市外出身者も支援対象とし、本市で働きたい若者を強力にバックアップします。

保育所・学校・放課後児童クラブ受入増への対応

① 予算額 15億825万円
 ② 予算額 6360万円

子どもの増加に対応するため、保育所・学校教室を整備するとともに放課後児童クラブを増設し、受け皿の確保を図ります。

保育所などにおける障がい児等保育への支援

① 予算額 6360万円

障がい児や特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の強化とともに、保育環境の改善を図るため加配保育士に係る人件費を支援します。

社会増の抑制 定住の促進

① 予算額 1億6091万円
 ② 予算額 137万円

まちなか居住の推進
 ③ 予算額 1億6091万円

中心市街地の低未利用地活用や建物のリノベーションなどで居住機能を集積し、にぎわいのある「歩きたくなるまちなか」を形成。高層建築（マンション）に対する補助の増額や、共同住宅の居住専用駐車場整備を新たに補助対象とするなど支援を強化します。

選ばれる企業づくり支援

① 予算額 137万円

セミナー開催やアドバイザー派遣により、若者が働きたいと思う「選ばれる企業」づくりに取り組む事業者を支援します。

企業巡見による地元就職促進

① 予算額 132万円

小・中学生のキャリア教育

① 予算額 12億449万円
 ② 予算額 1082万円

地元企業のゲストティーチャーを小・中学校に派遣しキャリア教育を行うことで、次世代を担う子どもたちの「地元で働く」意識を醸成します。

当面の課題への対応

プレミアム付スマイル商品券（第5弾）

① 予算額 12億449万円
 ② 予算額 1082万円

市民の家計支援と地域経済の活性化を図るため、6月1日時点で住民基本台帳に登録されている世帯を対象に、抽選販売でプレミアム付き商品券（プレミアム率30%）を発行します。

住宅リフォームへの支援

① 予算額 1億2237万円

指定ごみ袋販売価格の据え置き

① 予算額 1082万円

指定ごみ袋の製造価格上昇相当額を本市が負担することにより、実質的な値下げを実現します。

学校給食費の据え置き

① 状況に応じて補正対応予定

学校給食の食材料費の物価上昇相当額を継続支援します。

商工業者等の省エネルギー設備導入への支援

① 予算額 8415万円

※令和6年度補正予算を含む
 新：新規事業 拡：拡充事業 ①：ふるさと納税活用事業 ②：再掲



3つの宝をより一層輝かす！

農林畜産業の振興

農畜産業の振興

【予算額】 1億4699万9千円

- 全国和牛能力共進会対策
○肉用牛担い手農家支援
○次世代乳用牛育成対策
○養豚生産性向上対策
○鳥インフルエンザ等防疫対策
○新規就農者支援

6次産業化による地域ブランドのPR

【予算額】 5740万9千円

- 「都城メンチプロジェクト」
○新たな6次産業化商品の開発や販路開拓への支援



重要施策の推進
市民サービスのさらなる向上
その他の特色ある事業
新市誕生20周年記念事業

中心市街地の活性化

まちなか居住の推進

【予算額】 1億6091万9千円

中心市街地のリノベ・魅力アップ

【予算額】 2億23万9千円

地域の活性化

自治公民館支援

○加入促進に向けた検討会開催

【予算額】 138万8千円

○防犯灯設置・運営への支援

【予算額】 444万2千9百円

○建物・備品・エアコン等整備への支援

【予算額】 4205万9千円

森林整備の促進

【予算額】 5403万円

- 3D地図アプリ活用による森林境界確認
○再造林率向上に対する支援

地の利の拡大

南九州圏域を結ぶ3ルートの早期事業化

【予算額】 492万2千9百円

都城末吉道路(仮称)と曾於志布志道路(仮称)で構成する無限大ルートおよび国道222号牛ノ峠バイパス(仮称)の早期事業化に向けた建設促進大会の開催により、機運醸成を図ります。



都城末吉道路・曾於志布志道路・牛ノ峠バイパス位置図(イメージ)

基幹道路の整備

○甲斐元通線

【予算額】 1億3512万9千円

○乙房谷頭線(乙房工区)

【予算額】 3000万9千円

○下長飯北374号線

【予算額】 2319万9千円

工業団地の整備

○都城インター工業団地(高木北地区)

【予算額】 14億2772万9千円

○梅北インター工業団地

【予算額】 10億532万9千円

人間力あふれる子どもたちの育成

全小・中学校体育館の空調整備

【予算額】 1391万9千円

読解力の強化に向けた取組

【予算額】 283万9千円

時事問題を活用した教材を使用し、児童生徒の読み解く力や書く力、伝える力を強化します。

デジタル技術の活用による学力向上対策

【予算額】 1億647万9千円

全小・中学生を対象にA・Iドリルを活用した学習を実施します。

A・L・T・図書館サポーターの配置

【予算額】 1億9175万9千円

中学校A・L・Tを2人増員し、児童生徒の語学力の向上や国際感覚を醸成するほか、全ての小・中学校に図書館サポーターを配置し、読書に親しむ環境づくりを支援します。

子どもたちへのブックプレゼント

【予算額】 303万9千円

3カ月児健康相談時のファーストブックに加え、3歳児健診時にセカンドブックをプレゼントします。



学校限定ラジオ番組「耳恋in給食の時間」の放送

【予算額】 200万9千円

栄養教諭などがラジオ放送を通して給食をPRし、食育の推進や地域食材の魅力を発信します。

新市誕生20周年記念事業

【予算額】 2082万9千円

令和8年1月1日に、新都市が誕生して20周年を迎えます。これまでの歩みを振り返り、まちづくりに貢献した人を表彰するなど、本市のさらなる飛躍に向けた記念式典を開催します。

- 開催日 令和8年2月14日(土)
○場所 総合文化ホール

20周年記念事業の開催

【予算額】 5520万9千円

- 画像オープンデータ公開(4月)
○NHKのど自慢in都城(5月)
○吉本興業ハラエティイ公演(7月)
○戦後80年「桜舞」公演(7月~8月)
○みやこんじょクエスト(7月~8月)
○デジタルスポーツ体験(8月)
○ドローンショー(10月)
○ウエルネス交流プラザ・タイムカプセル開封(10月)
○「Fits」都城の書籍化(12月)
○みやこんじょ大使大集合イベント(1月)

新:新規事業 拡:拡充事業 ふ:ふるさと納税活用事業 再:再掲 ※令和6年度補正予算を含む